

地域の小さな声を聴く力。公明党

平成29年度区議会第4回定例会における公明党の代表質問

11月28日の代表質問に、平塚けいじが登壇し、以下の内容で質疑を交わしました。

未来を担う 子どもへの投資と 教育の充実について

学校給食の無償化については、財源の確保は簡単ではない厳しい財政状況においても行財政改革を確実に進めて、例えば葛飾区が取り組んでいるような段階的に充実していく施策を世田谷区においても検討すべき、区の見解を問う。

【答弁】具体的なシミュレーション等、必要な検討をしていく。

国際交流と 観光について

グローバル化した現代社会にあって、国際交流と観光事業は一体で展開することが効率的であり、成果が上がるものと訴える、区の見解を問う。

【答弁】国際交流、観光のそれぞれの事業の企画や情報発信に十分に連携して取り組む。

東京2020 パラリンピック 競技大会について

東京2020パラリンピック、その先を見据えた上でも障害者スポーツを所管する担当の新設が必要と考える、区の認識を問う。

【答弁】どのような組織の体制やあり方が効果的か政策経営部と調整し検討する。



建設産業 政策について

区では産業ビジョンに建設産業を明確に位置づけるとしながらも、今回の産業ビジョンに示されていないのはどうしてなのか、明確な答弁を求める。

【答弁】建設業の役割を産業ビジョンに明確に位置付け、継続的な支援に取り組む。

がん教育の 推進について

国の第3期がん対策推進基本計画に示された協議会を設置して、がん教育の全校実施に向けて取り組むべき、区の見解を問う。

【答弁】教育委員会との連携を密にし、がん啓発の講話等、がん教育の推進に努める。

子どもの「いじめ・ 不登校・自殺」 問題について

世田谷区においても長野県での試行を参考にLINE等を活用したSNSでの早期発見のための取り組みを提案する、区の見解を問う。

【答弁】長野県や大津市などの先進事例や国の動向等も注視しながら研究する。

都市農業の更なる 振興について

世田谷区においても農地の防災機能を明確化し、農地所有者と連携をして、具体的に進めるべき、区の見解を問う。

【答弁】今後は農地内で表示物を設置して明示する等分かりやすく周知していく。



風景づくりについて

世田谷区の風景づくりのガイドラインの素案が示された。まず公共所有の広告物や表示物における区の景観形成の意思を区が率先して整えていくべきである今後のスケジュールについて見解を問う。

【答弁】公共施設に求められる風景づくりのガイドラインの作成を検討し、取り組む。

プログラミング 教育について

2020年の必須化に向けて、質の高いプログラミング教育を実現する為に、教員の養成・研修と共に、外部専門家の参画も視野に、チームとして授業にあたる体制を検討すべきと考える。区の見解を問う。【答弁】円滑で効果的な展開を支援することができるよう、体制を整えていく。